

令和6年6月18日（火）  
エイズ・性感染症に関する小委員会第7回

# 学校における 性に関する指導について ～エイズ及び性感染症を中心に～

初等中等教育局 健康教育・食育課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 説明事項

- 1 学習指導要領と保健の学習
- 2 性に関する内容  
～エイズ及び性感染症を中心に～





# 1 学習指導要領と保健の学習

# 学習指導要領とは何か？



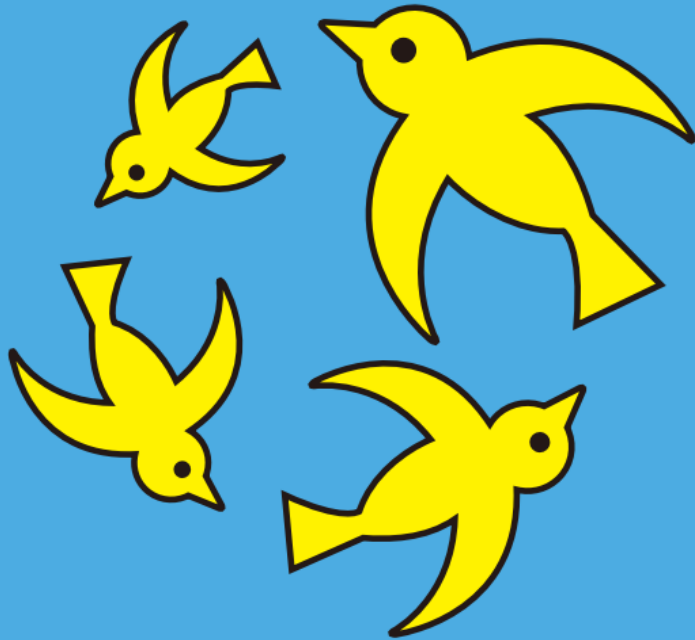
- ◆全国どの地域でも、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省では学校教育法に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準を定めています。これを「学習指導要領」といいます。
- ◆「学習指導要領」では、小学校、中学校、高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな内容を定めています。また、これとは別に、学校教育法施行規則で、例えば教科等の年間の標準授業時数等が定められています。
- ◆各学校では、学習指導要領や年間の標準授業時数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、「教育課程（カリキュラム）」を編成しています。

# 「生きる力 学びの、その先へ」



子供の未来を支える皆さまと共有したい  
新しい学習指導要領

## 生きる力 学びの、その先へ



学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、  
子供の学びが進化します。新しい学習指導要領、スタート。

小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～

幼稚園は、2018年度に新しい幼稚園教育要領がスタート。特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施。

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、  
明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、  
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、  
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

2020年度から始まる新しい「<sup>がくしゅうしどくようりょう</sup>学習指導要領」には、  
そうした願いが込められています。



「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、  
文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。  
およそ10年に一度、改訂しています。  
子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

これまで大切にされてきた、  
子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、  
これからも変わることはありません。  
一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

## 生きる力 学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、  
子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

# 「生きる力」を育むために



## 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

どのように学ぶか

何ができるようになるか

「生きる力」を育むために

### 子供たちの学びはどう進化するの？

**主体的・対話的で深い学び**  
(アクティブ・ラーニング)

の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に  
見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に  
自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

**カリキュラム・マネジメント**

を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や社会に生かそうとする  
**学びに向かう力、人間性**など



実際の社会や生活で生きて働く  
**知識及び技能**

未知の状況にも対応できる  
**思考力、判断力、表現力**など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく**育みます。

何を学ぶか



生涯を通じて自らの健康を適切に  
管理し改善していく資質や能力の育成

2単位  
(70h)

個人及び社会生活における  
健康・安全に関する内容

高等学校  
より総合的に

48h  
程度

個人生活における  
健康・安全に関する内容

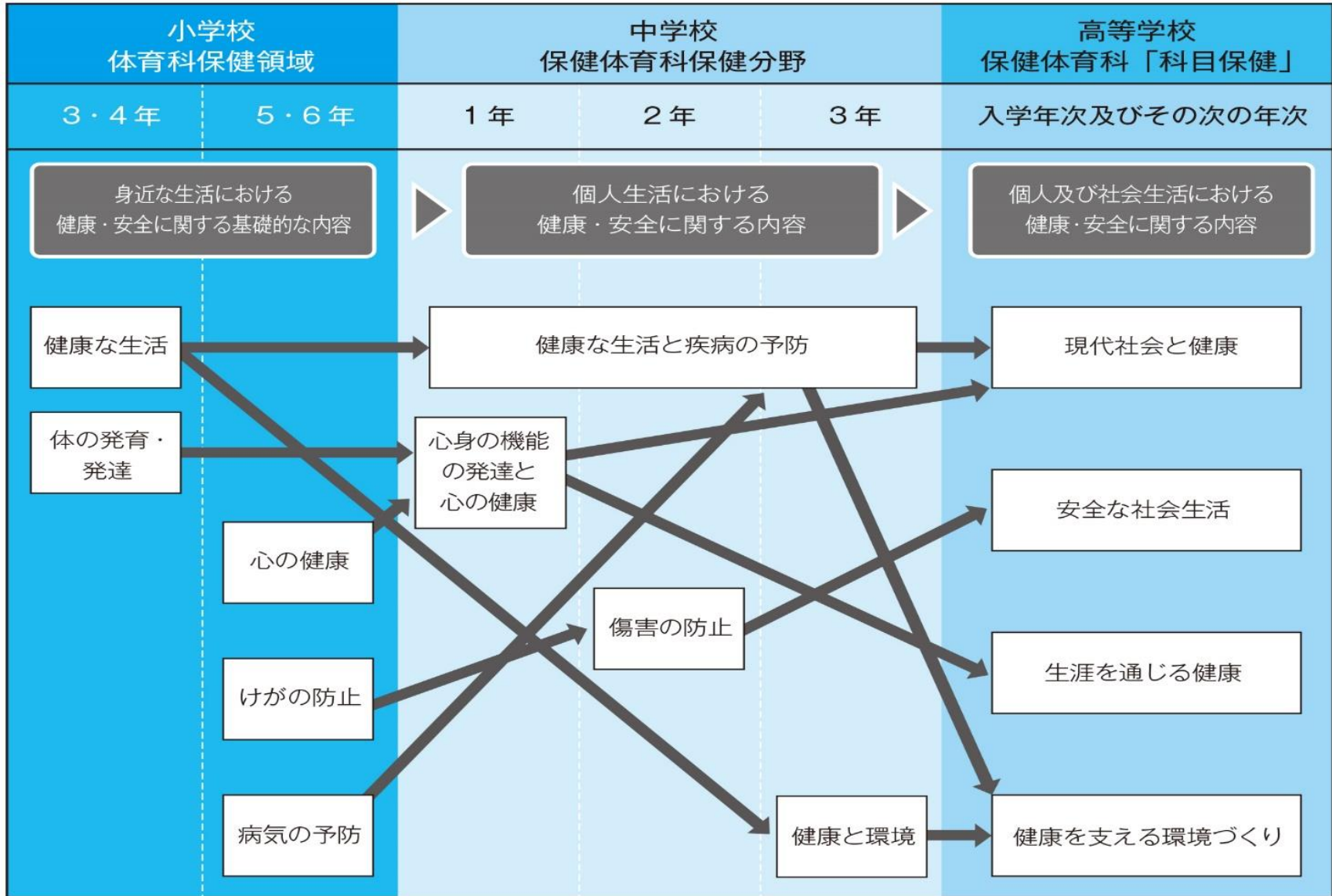
中学校  
より科学的に

24h  
程度

身近な生活における  
健康・安全に関する基礎的な内容

小学校  
より実践的に

# 体育科・保健体育科における保健の学習の体系







## 2 性に関する内容 ～エイズ及び性感染症を中心に～

# 小・中・高等学校の保健の内容(性に関する内容)

小学校(保健領域)	中学校(保健分野)	高等学校(科目保健)
<p><b>「健康な生活」(3年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活</li> <li>・1日の生活の仕方</li> <li>・身の回りの環境</li> </ul> <p><b>「体の発育・発達」(4年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体の発育・発達</li> <li>・思春期の体の変化</li> <li>・体をよりよく発育・発達させるための生活</li> </ul> <p><b>「心の健康」(5年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の発達</li> <li>・心と体との密接な関係</li> <li>・不安や悩みへの対処</li> </ul> <p><b>「けがの防止」(5年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止</li> <li>・けがの手当</li> </ul> <p><b>「病気の予防」(6年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の起こり方</li> <li>・病原体が主な要因となって起こる病気の予防</li> <li>・生活行動が主な要因となって起こる病気の予防</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</li> <li>・地域の様々な保健活動の取組</li> </ul>	<p><b>「健康な生活と疾病の予防」(1. 2. 3年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の成り立ちと疾病の発生要因</li> <li>・生活習慣と健康</li> <li>・生活習慣病などの予防</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</li> <li>・感染症の予防</li> <li>・個人の健康を守る社会の取組</li> </ul> <p><b>「心身の機能の発達と心の健康」(1年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能の発達と個人差</li> <li>・生殖に関わる機能の成熟と適切な行動</li> <li>・精神機能の発達と自己形成</li> <li>・欲求やストレスへの対処と心の健康</li> </ul> <p><b>「傷害の防止」(2年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因</li> <li>・交通事故などによる傷害の防止</li> <li>・自然災害による傷害の防止</li> <li>・応急手当</li> </ul> <p><b>「健康と環境」(3年)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体对环境に対する適応能力・至適範囲</li> <li>・飲料水や空気の衛生的管理</li> <li>・生活に伴う廃棄物の衛生的管理</li> </ul>	<p><b>「現代社会と健康」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方</li> <li>・現代の感染症とその予防</li> <li>・生活習慣病などの予防と回復</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</li> <li>・精神疾患の予防と回復</li> </ul> <p><b>「安全な社会生活」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な社会づくり</li> <li>・応急手当</li> </ul> <p><b>「生涯を通じる健康」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における健康</li> <li>・労働と健康</li> </ul> <p><b>「健康を支える環境づくり」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と健康</li> <li>・食品と健康</li> <li>・保健・医療制度及び地域の保健医療機関</li> <li>・様々な保健活動や社会的対策</li> <li>・健康に関する環境づくりと社会参加</li> </ul> <p>(原則として、入学年次及びその次の年次の2か年にわたり履修)</p>

## 性に関する内容(保健領域、保健分野、科目保健)

校種	学習指導要領解説の内容(キーワード)
小学校 (第4学年)	<p>(イ)思春期の体の変化 思春期、体つきに変化、人によって違いがある、男子はがっしりした体つき、女子は丸みのある体つき、男女の特徴、初経、精通、変声、発毛、異性への関心、個人によって早い遅いがあるだれにでも起こる、大人の体に近づく現象</p>
中学校 (第1学年)	<p>(イ)生殖にかかわる機能の成熟 思春期、性腺刺激ホルモン、生殖器の発育、生殖機能が発達、男子では射精、女子では月経、妊娠、個人差、性衝動、異性の尊重、性情報への対処、性に関する適切な態度や行動の選択 ■受精・妊娠を取り扱う、妊娠の経過は取り扱わない、性衝動が生じる、異性への関心、異性の尊重、情報への適切な対処や行動の選択</p>
中学校 (第3学年)	<p>(オ)感染症の予防 エイズ及び性感染症の増加傾向、青少年の感染、疾病概念、感染経路。感染のリスクを軽減、エイズの病原体、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)、感染経路は性的接触、性的接触をしない、コンドームを使うことなどが有効 ■後天性免疫不全症候群(エイズ)及び性感染症について取り扱う。</p>
高等学校	<p>(イ)現代の感染症とその予防 エイズ及び性感染症、原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策</p>
高等学校	<p>(ア)生涯の各段階における健康 ① 思春期と健康 思春期における心身の発達、性的成熟に伴う健康課題、自分の行動への責任感、異性を理解したり尊重したりする態度、性に関する情報等への適切な対処 ② 結婚生活と健康 結婚生活、心身の発達や健康の保持増進、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、健康課題には年齢や生活習慣などの関わり、家族計画の意義、人工妊娠中絶の心身への影響、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係、家族や周りの人からの支援、母子の健康診査の利用、保健・医療サービスの活用、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能 ■思春期と健康、結婚生活と健康、生殖に関する機能、責任感を涵養、異性を尊重する態度、性に関する情報等への適切な対処</p>

## (1) 健康な生活と疾病の予防 《第3学年》

### (ア) 感染症の予防

#### ① エイズ及び性感染症の予防

エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題になっていることから、それらの疾病概念や感染経路について理解できるようにする。また、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解できるようにする。例えば、エイズの病原体はヒト免疫不全ウイルス（HIV）であり、その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。

なお、指導に当たっては、**発達**の段階を踏まえること、**学校全体で共通理解**を図ること、**保護者の理解**を得ることなどに配慮することが大切である。

指導上の留意事項

\* 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編より抜粋

## (1) 現代社会と健康 《入学年次又はその次の年次》

### (イ) 現代の感染症とその予防

感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。

また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。

\* 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編より抜粋

## 02 梅毒についてのクイズを行う。

### 病気Xは何でしょう？

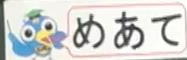
男性



### POINT

梅毒感染者の増加を示すグラフや症状などの写真を提示しながらクイズを行うことで、問題意識をもつように促します。

## 04 本時のねらいを確認する。



性感染症に感染するリスクを減らすためにはどうすればよいか考えよう。

### 性感染症

- ・性器クラミジア感染症
- ・梅毒 ・りん菌感染症
- ・性器ヘルペスウイルス感染症
- ・尖圭コンジローマ ・エイズ

### POINT

導入で高めた問題意識を、本時の学習課題へとつなげます。

再生

04:09



～個々の力を結束し、力強くはばたこう～

## 05 性感染症の感染経路, 特徴について理解する。

動画で紹介された内容や性感染症の特徴を確認する。

- ・性器クラミジア感染症
- ・梅毒 ・りん菌感染症
- ・性器ヘルペスウイルス感染症
- ・尖圭コンジローマ ・エイズ

**感染経路** 性的接触 によって感染

感染者の・・・

- 精液・膣分泌液・血液などの体液
- 粘膜(性器・口など)
- 皮膚(性器・口などの周辺)

↓  
他の人の粘膜や皮膚に接触



**05 性感染症の感染経路, 特徴について理解する。**


▶▶ 動画で紹介された内容や性感染症の特徴を確認する。

**自分は検査をしなくてもいいと思って放置する。**

## 06 性感染症への感染リスクを減らすためにはどうすればよいか考える。

### 資料2

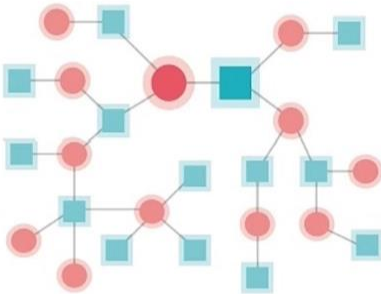
**性感染症  
相手が増えれば  
リスクも増える。**



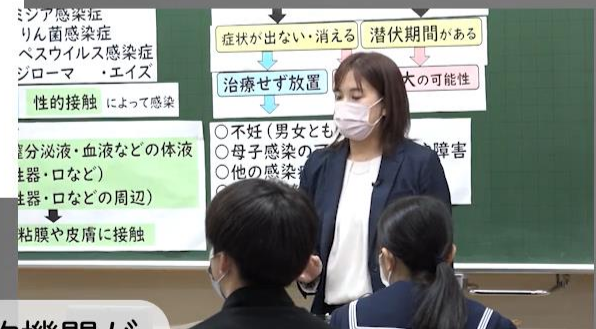
性感染症は、自覚症状がないことが多いため、自分自身でも感染しているかどうかわかりません。感染のキケンを減らすには、複数の相手と無防備なカンケイをもたないこと。より効果的な予防のために、コンドームも忘れずに。

出典：厚生労働省 性感染症 啓発ツール リーフレット

せっしょく  
**性的接触のつながり**



それぞれの人が過去に別のひとと性的接触の経験があるとすれば、二人につながっている人は相当な数になる。その中に感染している人がいれば……。



ミジカ感染症  
りん菌感染症  
ベスウイルス感染症  
ジローマ・エイズ

症状が出ない・消える 潜伏期間がある

治療せず放置 大の可能性

性的接触 によって感染

分泌液・血液などの体液  
生殖器・ロなど  
生殖器・ロなどの周辺  
粘膜や皮膚に接触

- 不妊(男女とも)
- 母子感染の
- 他の感染

### POINT

生徒に示す資料は、厚生労働省などの公的機関が出しているものを活用します。

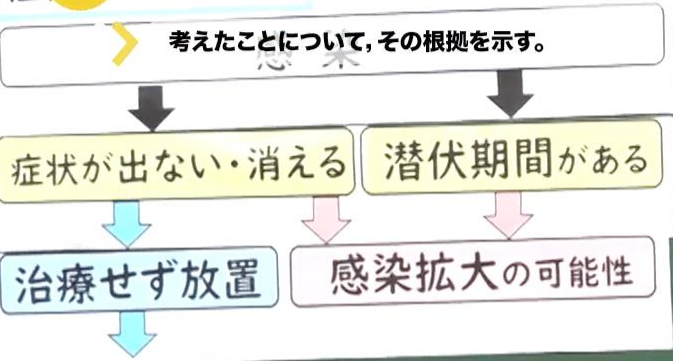
06 性感染症への感染リスクを減らすためにはどうすればよいか考える。

▶ ブレインストーミングで出た考えを班で共有する。→他にもないか班で考える。



性的接触をする人を減らす。

性 06 性感染症への感染リスクを減らすためにはどうすればよいか考える。



- 不妊(男女とも)
- 母子感染の可能性 → 死産や障害
- 他の感染症への感染率上昇
- 血管・脳などで合併症

感染のリスクを減らすためには

- ・検査をする(自分とパートナー)
- ・性的接触をへらす
- ・清潔に保つ
- ・性器が接触しないようにする
- ・複数の人と関係をもたない
- ・ワックスを打つ
- ・コンドームをつける

## 06 性感染症への感染リスクを減らすためにはどうすればよいか考える。

考えたことについて、その根拠を示す。

### 班 ノート

感染のリスクを減らすためにどうすればよいでしょう。

- 1 ・性的接触を避ける  
・定期的に検査を行う  
・複数の人と関係を持たない
- 2 ・性行為を減らす  
・避妊具をつける  
・複数の人と関係を持たない  
・自分だけでなくパートナーと一緒に検査する
- 3 ・性行為の時にコンドームをつけて性器などが直接接触しないようにする。…ウイルスをもらわないようにして、感染拡大を防ぐため。  
・定期的に性感染症に感染していないか検査を受ける。…症状がない場合もあるため、検査をする。妊娠している場合に、赤ちゃんに害が及ばないようにするため。  
・複数の人と関係をもたない。…その中に感染している人がいればリスクがあがるから。
- 4 ・性的接触をしない  
・複数の人と性的接触をしない



07 本時のまとめをする。

▶ まとめたことを発表する。

相手から菌をもらわないために、コンドームをつける。

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践（動画）

子どもの未来を考える人のための

## 学校保健

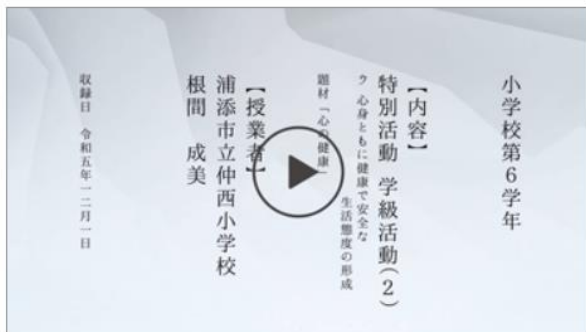
研修会情報

教材コンテンツ

Google<sup>TM</sup>カスタム検索

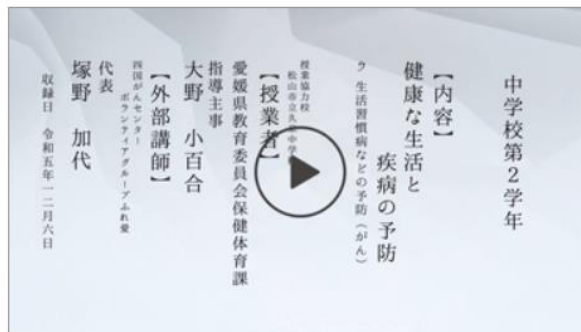
研修会案内 | 日本学校保健会刊行物(デジタルアーカイブ) | 学校等欠席者・感染症情報システム | 特集 | コラム | イベントカレンダー | テーマ別関連ページ

## II 実践授業

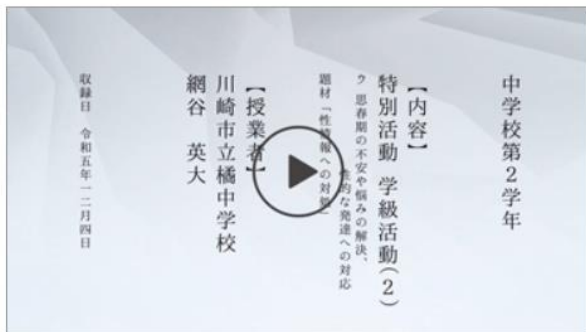


特別活動(学級活動)(2)  
ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成  
題材「心の健康」

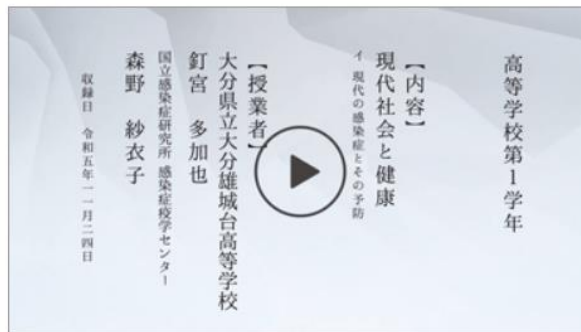
小学校第6学年 浦添市立仲西小学校  
[指導案\(PDF\)](#)



「健康な生活と疾病の予防」  
(ウ)生活習慣病などの予防(がん)  
中学校第2学年 松山市立久米中学校(授業協力校)  
[指導案\(PDF\)](#)



特別活動(学級活動)(2)



「現代社会と健康」

- ▶ [メンタルヘルス\(精神保健\)](#)
- ▶ [学校環境衛生](#)
- ▶ [成長曲線](#)
- ▶ [その他](#)

### ■保健教育

- ▶ [保健教育](#)
- ▶ [歯・口の健康教育](#)
- ▶ [食育](#)
- ▶ [安全教育](#)
- ▶ [喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育](#)
- ▶ [医薬品に関する教育](#)
- ▶ [学校環境衛生の教育](#)
- ▶ [エイズ・性教育](#)
- ▶ [メンタルヘルス・心の健康教育](#)
- ▶ [がん教育](#)
- ▶ [その他](#)

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践

校種	保健教育授業動画一覧		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	「体の発育・発達」(第4学年) (イ)思春期の体の変化	「健康な生活」(第3学年) (イ)一日の生活の仕方	
	「病気の予防」(第6学年) (イ)病原体が主な要因となって起こる病気の予防	「心の健康」(第5学年) (ウ)不安や悩みへの対処	特別活動(学級活動)(2)(高学年) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
中学校	「心身の機能の発達と心の健康」(第1学年) (エ)欲求やストレスへの対処と心の健康	「傷害の防止」(第2学年) (エ)応急手当の意義と実際	「健康な生活と疾病の予防」(第2学年)(外) (ウ)生活習慣病などの予防(がん)
	「生活習慣病などの予防と回復」(第2学年) (エ)喫煙・飲酒・薬物乱用と健康(薬物乱用と健康)	「健康な生活と疾病の予防」(第3学年) (オ)感染先勝の予防 性感染症の予防	特別活動(学級活動)(2)(第2学年)(性情報) ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
高等学校	「現代社会と健康」(第2学年) (ウ)生活習慣病などの予防と回復(がん)	「現代社会と健康」(第1学年) (オ)精神疾患の予防と回復	「現代社会と健康」(第2学年)(外) (イ)現代の感染症とその予防
	「安全な社会生活」(第1学年) (イ)応急手当(心肺蘇生法)	「生涯を通じる健康」(第1学年) (ア)生涯の各段階の健康(結婚生活と健康)	

	性
	心
	感染症
	がん
	薬乱
	応急手当(技能)

(公材) 日本学校保健会児童生徒の健康管理・健康づくり推進委員会  
保健の授業に関する動画コンテンツ(授業動画)

<https://www.gakkohoken.jp/health-management-and-health-promotion/>